

北海道農業生産工程管理手法（GAP）導入推進セミナー開催要領

1 目的

GAPは、農産物の安全性の確保や品質の向上、環境保全、労働安全の確保等を図る上で、有効な生産工程管理手法であり、道内でも、年々、取組産地が拡大しているものの、品目や地域により取組内容が様々な状況。

このため、関係者が一体となって、道内でのGAPの取組の裾野を広げるとともに、取組のステップアップを図るため、本セミナーを開催する。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への食材供給や、流通先が求める農産物供給をしていくためには、道内産地における第三者認証GAPの取得推進が重要であることから、取得した事例を中心に紹介する。

2 開催時期

平成30年3月12日（月）13:30～16:30

3 場所

自治労会館5階大ホール（350名程度収容可能）
札幌市北区北6条西7丁目

4 主催

北海道農業生産工程管理手法（GAP）導入推進会議
（北海道農政事務所、北農中央会、ホクレン、北海道農政部）

5 参集範囲

生産者、市町村、農業協同組合、北農中央会・ホクレン本所・支所、普及センター、総合振興局・振興局農務課

6 セミナー内容

- | | |
|--|-------------|
| (1) 国における第三者認証GAPの推進について（オリ・パラ情報含む）
（農林水産省北海道農政事務所） | 13:40～14:40 |
| (2) 北海道におけるGAP推進状況等について
（北海道農政部食品政策課・農産振興課） | 14:40～15:00 |
| (3) 道内の取組事例
JA北ひびき野菜特別栽培部会によるグローバルGAP認証取得 | 15:10～15:40 |
| (4) 農業高校でのGAP取得
北海道士幌高等学校 | 15:40～16:10 |
| (5) 質疑応答 | 16:10～16:30 |